

環境経営レポート

(2023 年度版)

対象期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 31 日



2024 年 12 月 26 日発行

1. 事業所の概要
2. 管理責任者氏名及び担当者連絡先
3. 経営環境方針
4. エコアクション21への取組経過
5. 当社の環境活動
6. 主な環境活動計画の内容
7. 取組結果とその評価
8. 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直しの結果



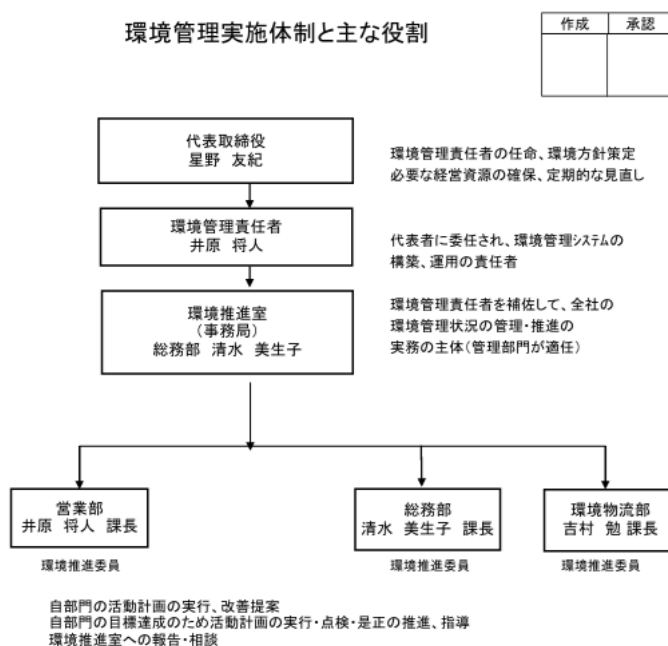
株式会社
スリーシープランニング

1. 事業所の概要

- (1) 事業所名 株式会社スリーシープランニング
- (2) 代表者氏名 代表取締役 星野 友紀
- (3) 所在地 本社 東京都品川区南品川三丁目6番31号
- (4) 法人設立年月日 平成16年3月19日
- (5) 対象範囲
- * 1: 対象組織: 全社
 - * 2: 事業内容: 産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般貨物運送業、第一種フロン類回収、金属スクラップの回収・販売
- (6) 事業規模
- ・資本金 400万円
 - ・売上高 279百万円
 - ・従業員数 21名
 - ・床面積 338.3m²

2. 管理責任者氏名及び担当者連絡先

- (1) 環境管理者&連絡者氏名 環境管理責任者: 井原 将人
- (2) 担当者連絡先 電話 03-5769-0157
FAX 03-5463-1224
e-mail ihara@cccpl.co.jp
- (3) 実施体制



3. 情報公開項目

(1) 許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

・産業廃棄物収集運搬業許可保有品目及び許可期限

地区名		許可年月日	有効期限	許可番号
1	東京都	平成 26 年 5 月 24 日	令和 11 年 5 月 23 日	13-10-110895
2	千葉県	平成 26 年 8 月 22 日	令和 11 年 7 月 12 日	01200110895
3	埼玉県	平成 28 年 3 月 7 日	令和 8 年 2 月 16 日	01101110895
4	茨城県	平成 28 年 10 月 21 日	令和 8 年 8 月 31 日	00801110895
5	群馬県	平成 24 年 10 月 25 日	令和 9 年 10 月 24 日	01000110895
6	山梨県	平成 25 年 2 月 27 日	令和 10 年 2 月 26 日	1900110895
7	神奈川県	平成 20 年 10 月 10 日	令和 10 年 10 月 9 日	01401110895
8	静岡県	平成 27 年 3 月 31 日	令和 7 年 3 月 30 日	02201110895
9	栃木県	平成 24 年 3 月 6 日	令和 9 年 3 月 5 日	00900110895

※神奈川県は更新申請済。

・産業廃棄物種類

地区名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	がれき類	鉱さい
1	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
6	山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
7	神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	静岡県		○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
9	栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	

・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可保有品目及び許可期限

地区名		許可年月日	有効期限	許可番号
1	東京都	平成 26 年 5 月 24 日	令和 11 年 5 月 23 日	13-57-110895
2	千葉県	平成 24 年 4 月 24 日	令和 9 年 4 月 23 日	01250110895
3	埼玉県	平成 19 年 6 月 22 日	令和 9 年 6 月 21 日	01151110895
4	山梨県	平成 25 年 2 月 27 日	令和 10 年 2 月 26 日	01950110895

5	神奈川県	平成 22 年 1 月 25 日	令和 7 年 1 月 24 日	01451110895
6	静岡県	平成 27 年 3 月 31 日	令和 7 年 3 月 30 日	02251110895
7	群馬県	平成 27 年 1 月 7 日	令和 7 年 3 月 31 日	01050110895
8	茨城県	平成 27 年 1 月 15 日	令和 7 年 1 月 14 日	00851110895
9	栃木県	平成 27 年 2 月 13 日	令和 7 年 3 月 31 日	00950110895

・ 特別管理産業廃棄物種類

地区名		廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)	廃酸 (PH2.0以下 のもの)	廃アルカリ (PH12.5以 上のもの)	特定有害産業廃棄物			
					PCB (低濃度)	PCB汚染物 (低濃度)	廃石綿等	金属(有害物質)を含む廃棄物
1	東京都	○	○	○	○	○	○	許可証参照
2	神奈川県	○	○	○	○	○	○	
3	埼玉県	○	○	○	○	○	○	
4	千葉県	○	○	○	○	○	○	
5	茨城県	○	○	○			○	
6	栃木県	○	○	○			○	
7	群馬県	○	○	○			○	
8	山梨県	○	○	○			○	
9	静岡県	○	○	○			○	

別表 産業廃棄物の種類：金属等を含む廃棄物

有害物質名	限定内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
		アルキル水銀化合物	水銀又はその化合物	カドミウム又はその化合物	鉛又はその化合物	有機燐化合物	六価クロム化合物	砒素又はその化合物	シアン化合物	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	一・二・ジクロロエタン	一・一・ジクロロエチレン	シス・一・二・ジクロロエチレン	一・一・トリクロロプロペン	一・一・二・トリクロロエタン	一・三・ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン又はその化合物	一・四・ジオキサン	ダイオキシン類
燃え殻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
汚泥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃油		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃酸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃アルカリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鉱さい		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ばいじん		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定下水汚泥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

② その他の許可

- ・建設業許可 管工事 (般 28 144968 号)
- ・一般貨物自動車運送業 (事業者番号 460007364 関自貨第 1343 号)
- ・廃棄物再生事業者登録 (第 340 号)
- ・古物商 (第 302151008634 号)
- ・第一種フロン類充填回収業者登録

行政	登録番号	初年登録年月日	有効期限	回収			充填		
				CFC	HCFC	HFC	CFC	HCFC	HFC
東京都	第 13102586 号	2006 年 2 月 24 日	2026 年 2 月 23 日	○	○	○	○	○	○
神奈川県	神（気水）第 1-1978 号	2010 年 11 月 8 日	2025 年 11 月 7 日	○	○	○	▲	▲	▲
埼玉県	第 19131156 号	2016 年 3 月 29 日	2026 年 3 月 28 日	○	○	○	○	○	○
千葉県	12A002425	2010 年 11 月 26 日	2025 年 11 月 25 日	○	○	○	○	○	○
茨城県	茨第 12411 号	2017 年 3 月 29 日	2026 年 3 月 28 日	○	○	○	○	○	○
栃木県	第 1-1960 号	2019 年 8 月 28 日	2029 年 8 月 27 日	○	○	○	○	○	○
群馬県	第 101695 号	2016 年 3 月 4 日	2026 年 3 月 4 日	○	○	○	○	○	○
山梨県	第 1542 号	2013 年 1 月 29 日	2028 年 1 月 28 日	○	○	○	○	○	○

○ 制限なし ▲ 制限あり

(2) 積替保管施設

- ・所在地：東京都品川区南品川三丁目 6 番 31 号
- ・面積：384.39 m² ・保管上限：最大保管高さ 2.7m

産業廃棄物の種類	保管量	産業廃棄物の種類	保管量
廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラス・コンクリート陶磁器くず、がれき類	網かご 45 個：36.2 m ³	汚泥、廃油	200L 缶 2 個：0.4 m ³
			20L 缶 39 個：0.78 m ³
			4L 缶 324 個：2.59 m ³
		汚泥、金属くず (廃乾電池)	20L 缶 24 個：0.48 m ³
廃プラスチック類、ガラス・コンクリート陶磁器くず、がれき類 (いずれも廃蛍光灯 (水銀使用製品産業廃棄物に限る))	カーゴ台車 3 台：5.47 m ³	汚泥、金属くず (廃乾電池 (水銀使用製品産業廃棄物を除く。)に限る)	20L 缶 2 缶：0.96 m ³
廃プラスチック類、ガラス・コンクリート陶磁器くず、がれき類 (いずれも石綿含有産業廃棄物に限る)	コンテナ 1 個：8.04 m ³	廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず (いずれも廃バッテリーに限る)	パレット 2 枚：1.45 m ³
			総保管量：55.19 m ³

(3) 保有車両並びに機械設備

- ・車庫の所在地：東京都品川区八潮 1 丁目 4

	車体の種類	車体番号	最大積載量
1	2t・ゲート車	品川 401 う 7	2,000kg
2	2t・ゲート車	品川 400 ま 1800	2,000kg
3	2t・ゲート車	品川 430 か 1001	2,000kg
4	2t・ゲート車	品川 400 ま 1803	2,000kg
5	2t・ゲート車	品川 400 あ 1801	2,000kg
6	2t・ゲート車	品川 430 そ 1804	2,000kg
7	2t・ゲート車	品川 400 ま 1802	2,000kg
8	2t・ユニック車	品川 132 こ 11	2,000kg
9	3t・ゲート車	品川 100 せ 6678	3,000kg
10	3t・ゲート車	品川 100 せ 6679	2,950kg
11	3t・ゲート車	品川 105 こ 3	3,000kg
12	3t・ゲート車	品川 130 な 1003	2,950kg
13	3t・ユニック車	品川 100 せ 6680	3,000kg
14	3t・ユニック車	品川 100 せ 6681	3,000kg
15	3t・ユニックゲート車	品川 101 あ 255	3,000kg
16	4t・ユニック車	品川 100 い 8583	2,400kg
17	4t・アームロール車	品川 100 す 6893	3,900kg
18	4t・アームロール車	品川 130 せ 4002	3,650kg
19	ハイエース	品川 430 に 5115	1,250kg

(4) 廃棄物処理料金

収集運搬料金は、使用車両・距離等によりお見積りします。

処分料金は、廃棄物の種類・性質・荷姿によりお見積りします。

(5) 処理実績 (2023 年 10 月～2024 年 9 月)

産業廃棄物の収集運搬量は以下のとおりです。

汚泥	15.49	t
廃油	16.29	t
廃アルカリ	4.27	t
廃プラスチック類	321.39	t
紙くず	45.48	t
木くず	20.41	t
金属くず	1307.89	t
ガラス陶磁器くず	55.58	t
繊維くず	0.0	t
燃え殻	0.0	t
がれき類	29.70	t

特別管理産業廃棄物の収集運搬量は以下のとおりです。

引火性廃油	0	t
廃石綿	23	m3
強酸	0	t
汚泥 (有害)	0	t

3. 環境経営方針

< 基本理念 >

株式会社スリーシープランニングは、CLEAN（清潔）・CLEVER（賢い）・CREATIVE（創造）の行動基準のもとに、次の世代により良い地球環境・都市環境を継承する循環型会社の形成に向けた適正処理をコーディネートし、リサイクルシステムを構築することにより社会貢献します。

< 行動指針 >

1. 当社の主業務である産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬（積替保管含む）、及び一般貨物運送事業において、環境への影響を的確に捉え、環境負荷の低減及び廃棄物の削減に取り組みます。環境経営における課題とチャンスを踏まえ、事業活動、サービスに関わる環境影響のうち以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

（1）金属類スクラップのリサイクル量の拡大

（2）自動車燃費の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減（運搬車両の燃費向上）

（3）電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

（4）水資源の節水

（5）コピー用紙の削減

（6）事務用品のグリーン購入

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境マネジメントシステムの活動を行うにあたり、定期的に環境目標設定の見直しを実施し、継続的な改善に努めます。

4. この環境経営方針は社内外に周知します。

制定日：2016 年 8 月 1 日

改定日：2024 年 12 月 23 日

株式会社スリーシープランニング

代表取締役社長

星野 友紀

4. エコアクション 21 への取組経過

エコアクション 21 を平成 29 年 3 月に取得した。エコアクション 21 認証登録環境向上へ向けて取り組みを行っている。

環境負荷と環境への取組結果を踏まえ定めた環境負荷低減のための目標は次の通りである。

5. 当社の環境活動

① 環境経営目標 (運用期間：10 月～9 月)

項目	活動の基本方針	単位	2022 年度 (基準値)	2021 年度 (実績値)	2022 年度 (実績値)	2023 年度 (目標値)	2023 年度 (実績値)	達成度 評価
電気使用量	年間で 1% 削減	kWh	17,006			▼1%		91
				18,782	17,006	16,836	18,385	△
ガソリン使用量	年間で 1% 削減	L	1,419			▼1%		119
				2,034	1,419	1,405	1,148	○
軽油使用量	年間で 1% 削減	L	25,476			▼1%		62
				31,423	25,476	26,384	41,309	△
CO2 排出量	年間で 1% 削減	kg-CO2	78,739			▼1%		67
				97,490	78,739	81,005	120,359	△
金属類 (スクラップ) 回収量	年間で 5% 増加	Kg	1,430,450			▲5%		91
				1,134,660	1,430,450	1,501,973	1,307,899	△
フロン回収量	現状を維持する							
水道使用量	現状を維持する							
一般廃棄物排出 量 (オフィスゴミ)	現状を維持する							
コピー用紙	年間で 1% 削減	kg	253			▼1%		91
				294	253	250	231	△
グリーン購入	年間で 1% 増加	個	240			▲1%		64
				301	240	242	87	△

※金属類(スクラップ)回収量は、産業廃棄物の金属くずの収集運搬量に、有償(専ら物)の回収量を加えた数値です。

※水道使用量についてはビルオーナーから定額料金にて請求が来ており、使用量が開示されないため、把握不可能と記載しています。

※※化学物質(PRTR 法対象のもの)を使用していないので、環境経営目標を設定していません。

※電力の排出係数は東京電力年度調整後排出係数 0.505kg-CO2/kWh を使用しています。

※達成度：

削減目標達成度 = (1 + (目標値 - 実績値) / 目標値) × 100 (%)

増加目標達成度 = (1 + (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100 (%)

② 環境経営目標 年度（期間：10月～9月）

項目	活動の基本方針	単位	2022年度 (基準値)	2023年度 (目標値)	2024年度 (目標値)	2025年度 (目標値)
電気使用量	3年間で3%削減	kWh	17,006	▼1%	▼2%	▼3%
				16,835	16,665	16,495
ガソリン使用量	3年間で3%削減	L	1,419	▼1%	▼2%	▼3%
				1,404	1,390	1,376
軽油使用量	3年間で3%削減	L	25,476	▼1%	▼2%	▼3%
				25,221	24,966	24,711
CO2排出量	3年間で3%削減	kg-CO2	11,813	▼1%	▼2%	▼3%
				11,694	11,576	11,458
金属類 (スクラップ) 回収量	3年間で15%増加	Kg	1,430,450	▲5%	▲10%	▲15%
				1,501,972	1,573,495	1,645,017
フロン回収量	現状を維持する					
水道使用量	現状を維持する					
一般廃棄物排出量 (オフィス・ミ)	現状を維持する					
コピー用紙	3年間で3%削減	kg	252	▼1%	▼2%	▼3%
				249	246	244
グリーン購入	3年間で3%増加	個	240	▲1%	▲2%	▲3%
				242	244	247

※金属類（スクラップ）回収量は、産業廃棄物の金属くずの収集運搬量に、有償（専ら物）の回収量を加えた数値です。

※水道使用量についてはビルオーナーから定額料金にて請求が来ており、使用量が開示されないため、把握不可能と記載しています。

※※化学物質（PRTR法対象のもの）を使用していないので、環境経営目標を設定していません。

6. 主な環境活動計画の内容

環境目標	環境活動計画書（主要活動項目を抜粋）
金属類（スクラップ） 回収量の増加	・仕事の量を増やす。
	・金属くずが多く出る設備機器の会社を増やす。
フロン回収量の増加	・工事の仕事の量を増やす。
	・フロンが入っている冷凍機・空調機器の産廃を増やす
電力使用量削減	・長時間使用しないパソコンの電源をオフにする
	・クールビズ(28度)・ウォームビズ(20度)でエアコンの温度設定に注意。
	・不必要な照明の消灯、電球型蛍光灯。LED照明の促進
	・残業時間の短縮
ガソリン使用量削減	・エコドライブの励行
	・効率のよいスケジュールを立て、無駄に距離を走らないようにする。
	・車種別燃費管理 km/L
軽油使用量削減	・エコドライブの励行
	・効率のよいスケジュールを立て、無駄に距離を走らないようにする。
	・車種別燃費管理 km/L
水道使用量削減	・洗車で使用時は節水を心掛ける。
	・使用時には水を流しっぱなしにせず、こまめに蛇口を閉める
	・洗濯で使用時は節水を心掛ける。
一般廃棄物排出量削減	・毎週の45Lのゴミ袋で出す量を減らす。
	・外で食べたゴミは持ち帰らない。
コピー用紙の削減	・印刷する内容によっては裏紙を使用する。
	・よく確認してから印刷し、ミス紙を削減する。
グリーン購入量の増加	・事務用品のエコマーク製品への切り替える。
	・エコマーク商品がどんなものがあるか洗い出しする。

7. 取組結果とその評価（2022 年度）

○2023 年 10 月～2024 年 9 月の活動結果は、下記の通りである。

2023 年度目標は、基準年度（2022 年度）より 1%削減または 1~5%増加

注：電力の二酸化炭素排出係数：0.505 kg-CO₂/kWh

項 目	単位	目標値	実績値	達成率	活動計画の取組結果とその評価
電 力	kWh	16,836	18,385	91	省エネ行動(不要照明の消灯等)、空調温度調整を行った。
ガソリン	L	1,405	1,148	119	工事部の仕事減少によりの工事現場への長距離の移動が減った。引き続き使用量について気を付ける。
軽油	L	26,384	41,309	62	エコドライブ励行を行い、アイドリングストップ、緩加減速、空気圧調整などを行ったが、仕事が増え為、目標値を下回った。
CO2 排出	kg-CO2	81,005	120,359	67	軽油使用量は車両移動が増えた結果、増えたが、ガソリンの使用量が遠距離の工事が減った為、目標は達成した。
水道水	m ³				洗車・洗濯を少なくするようにした。こまめに蛇口を閉めるよう心掛けた。
一般廃棄物	L				コンビニの弁当など社外からのゴミの持ち込みを少なくするよう推奨した。
コピー用紙の削減	kg	250	231	91	裏紙の使用。印刷ミスしないように徹底した。今後も印刷ミスなど無くすよう心掛けたが、決算前に大量に購入した為、達成できなかった。
フロン回収量の増加	kg				社内で冷媒を抜く作業が少なくなった為、目標、活動計画管理表から外しました。方針からも除外しました。
金属類(スクラップ)	kg	1,501,973	1,307,899	91	金属スクラップで取って貰えるように。処分場でドライバーの折衝を徹底した。 照明機器の現場は増えたが、空調、ELV の現場が伸びなかった。
グリーン購入	個	242	87	64	洗い出しを行った結果、事務用品で多く購入していた。引き続き、グリーン購入を推奨する。

8. 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標	計画した施策	結果	施策に対する取り組み評価と次年度の取組内容
金属類(スクラップ)取り扱い量の増加	・仕事の量を増やす。 ・処分場での折衝	△	月次で金属回収が少なくなる月を分析して上下のない仕事をする。稼働率を上げる。
フロン回収量の増加	・工事及び産廃の仕事の量を増やす。	—	社内で冷媒を抜く作業が少なくなった為、目標、活動計画管理表から外しました。方針からも除外しました。
電力使用量削減	・長時間使用しないパソコンの電源をオフ ・クールビズ(28度)・ウォームビズ(20度)でエアコンの温度設定 ・不必要な照明の消灯、電球型蛍光灯。LED照明の促進 ・残業時間の短縮	△	夜間、早朝現場及び残業が多く、エアコン、 照明使用が多かった。現場の時間調整、時短など 働き方も見直し電力の削減に努める。
ガソリン使用量削減	・エコドライブの励行 ・効率のよいスケジュールを立て、無駄に距離を走らないようにする。 ・車種別燃費管理 km/L	○	引き続きエコドライブを奨励する。 都内の移動は公共機関の使用を増やす。 長距離の仕事の精査
軽油使用量削減	・エコドライブの励行 ・効率のよいスケジュールを立て、無駄に距離を走らないようにする。 ・車種別燃費管理 km/L	△	引き続きエコドライブを奨励する。エンジンの回しすぎ、急ブレーキをなくす。
水道使用量削減	・洗車で使用時は節水を心掛ける。 ・洗濯で使用時は節水を心掛ける。 ・使用時には水を流しっぱなしにせず、こまめに蛇口を閉める	—	更なる節水を実行し、処理水の有効利用を徹底する。
一般廃棄物排出量削減	・毎週の45Lのゴミ袋で出す量を減らす。 ・外で食べたゴミは持ち帰らない。	—	不要な廃棄物の更なる削減徹底する。
コピー用紙の削減	・印刷する内容によっては裏紙を使用する。 ・よく確認し、ミス紙を削減する。	△	よく確認して印刷ミスをなくす。 PDF化を行い、印刷を減らす。 紙の購入量の削減、裏紙の使用を行う。
グリーン購入量の増加	・事務用品をエコマーク製品への切り替えを行う。 ・エコマーク商品の洗い出しを行う。	△	コピー用紙をグリーン購入品とした。 引き続きグリーン購入を推奨する。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

〈関係する環境関連法規制等〉

家電リサイクル法、小型家電リサイクル法、自動車リサイクル法、廃棄物処理法、東京都環境確保条例、フロン排出抑制法、騒音規制法、振動規制法

内 容	過去4年から現在までの結果
遵守状況の確認 及び評価結果 法律違反の有無	2024年12月20日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに自ら遵守状況のチェックをした結果、要求事項が確実に守られ、過去4年間違反はありません。
訴訟の有無	当社に対する利害関係者からの訴訟又は関係当局からの指摘等は過去4年間ありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

令和6年12月23日に環境管理責任者より確認事項の報告を受け、見直しを実施しました。

(1) 確認事項及び見直し結果

全般の評価	環境目標を達成できた項目とそうでない項目があるので、よく分析して、次につなげるよう努力すること。
① 環境経営方針	今年、代表交代により星野友紀に伴い改訂を行った。
② 環境経営目標	2023年度目標は、基準年度（2022年度）より1%削減または1～5%増加とする。
③ 環境活動計画	目標未達の項目もあったが、エコアクション活動は、地道な積み重ねにより浸透してきたので、これからも引き続き取り組み、意識の向上を図っていく。軽油、スクラップ量は引き続き注視する。
④ 施体制等	全体の活動にできるように心掛ける。 現在、エコアクションで何をやっているのかを周知させる。

(2) 代表者のエコアクション21全体評価

数値目標については、2017年度から設定し直して活動してきたが、仕事受注増により目標未達の項目もあった。よく分析して、次につなげるよう努力すること。